

堺太陽光発電所



堺太陽光発電所（10MW）

堺市と関西電力株式会社との共同事業で堺太陽光発電所の営業運転を開始しています。

【事業の特徴】

- ・最大出力は、10MWで、年間で一般家庭約3,000世帯分の電力をまかさないです。
- ・産業廃棄物の最終処分場を自然エネルギー供給拠点へと変貌させた先駆的取組です。
- ・上空からは『 SOLAR SAKAI 』の文字が見え、低炭素社会実現に向けた取組をアピールしており、昼間はカラーシートで、夜間はLEDを用いて文字を表現しています。

晴美台エコモデルタウン創出事業

65区画全戸で年間に消費する正味のエネルギー量が概ねゼロ以下となる住宅「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）」の実現を図り、街区全体においては“ネット・ゼロ・エネルギー・タウン”を実現をしています。

【事業の特徴】

- ・全戸に太陽光発電システム・家庭用リチウム蓄電池・HEMS等を導入することでZEHの実現を図っています。
- ・集会所等に設置する太陽光発電システムや大型リチウム蓄電池によって、共用部（LED街路灯等）電力の自給自足を図っています。
- ・カーシェアリング用EVを活用した集会所への給電システム[V2H]や電線類の地中化等、災害に強いまちづくりを実現しています。



【現況写真】



【集会所でEVをシェアリング】

下水再生水複合利用事業

三宝水再生センターからイオンモール堺鉄砲町に、1日約1500m³の下水再生水を送水し、イオンモール堺鉄砲町内の熱源及び水源として有効活用しています。

【事業の特徴】

- ・下水再生水の水温は冬で約15℃、夏で約25℃であり、外気との温度差を利用して熱源にできます。
- ・施設内の給湯の熱源として利用して水温を下げた後は空調の熱源として多段階利用しており、これにより省エネと二酸化炭素(CO₂)削減効果を見込んでいます。
- ・熱利用を行った後は、施設内のトイレ洗浄水及びせせらぎ用水の水源並びに施設内の内川緑地せせらぎ水路の水源として利用しています。



イオンモール堺鉄砲町内の熱源利用システムの外観



内川緑地せせらぎ水路

コミュニティサイクルシステムの運用

環境にやさしい自転車を活用した低炭素型の交通システムとして、コミュニティサイクルを運用しています。

【事業の特徴】

- ・現在、市内8か所のサイクルポート（専用駐輪場）に共用の自転車770台を配置しています。
- ・自動車利用からの転換によりCO₂排出量を削減し、環境にやさしいまちづくりに寄与しています。



サイクルポート配置図



写真上：堺東駅南口（ラック式・24時間利用可能）
写真下：堺東駅前（ゲート式）